



No. 26038

## 濃度計量証明書

令和8年2月18日

常石鉄工(株) 若松スチール工場 殿

日東化学工業株式会社  
 北九州市小倉南区徳吉東4丁目9-1  
 電話 093(451)2711  
 F A X 093(451)5537  
 福岡県登録濃度第29号

環 境 計 量 士	印
下 村 賢 史	

貴依頼によるばい煙量等の計量の結果は次のとおりです。

測 定 場 所	常石鉄工(株) 若松スチール工場
ばい煙発生施設の種別	産廃焼却施設
測 定 年 月 日	令和 8 年 1 月 18 日
測 定 時 間	4:30 ~ 7:00
測 定 者 氏 名	宮本 勝美 協園 義治 藤田 大貴 山下 雄也

		定量下限値					
計 量 の 対 象	(湿り, 乾き) 排ガス量※	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	湿り: 623,000		乾き: 617,000		
	排ガス温度※	°C	16.6				
	水分量※	%	0.9				
	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.0020 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	実測値: 0.0055	換算値: 0.0055		
	排ガス組成※	%	O <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> ※	O <sub>2</sub>	CO ※	N <sub>2</sub> ※
			0.20 %	0.2	20.8	0.0	79.0
	全硫黄酸化物濃度	ppm	1 ppm	---			
	全硫黄酸化物量※	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	---				
	窒素酸化物濃度	ppm	5 ppm	実測値: N.D	換算値: 45未満		
	塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.4 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	実測値: ---	換算値: ---		
水銀濃度	μg/m <sup>3</sup>	0.03 μg/m <sup>3</sup>	実測値: ---	換算値: ---			
全水銀濃度	μg/m <sup>3</sup>	0.001 μg/m <sup>3</sup>	実測値: ---	換算値: ---			

※は計量法第107条の計量対象外です。

計量の方法

排ガス中のダスト濃度の測定方法(JIS Z-8808 ろ過捕集による重量濃度測定方法)

排ガス中の窒素酸化物分析方法(JIS B-7982 自動測定)

排ガス中の硫黄酸化物分析方法(JIS K-0103)

排ガス中の塩化水素分析方法(JIS K-0107)

排ガス中の水銀分析方法(環境省告示第94号、粒子状:JIS K-0222)

排ガス中の酸素分析方法(JIS K-0301 5. 化学分析法 オルザット式)

備考 定量下限値未満をN.Dと表す。

貴施設における標準残存酸素濃度(On)

ダスト濃度: Os

窒素酸化物濃度: 12

## 煤煙発生施設の測定状況

名 称 及 び 形 式	産廃焼却施設
設 置 年 月 日	
伝 熱 面 積	m <sup>2</sup>
バーナー燃焼能力	l/h
火格子面積	kg/h
焼却能力	
燃料種類	
燃料使用量	m <sup>3</sup> /h
運 転 状 況	

## 水分量測定記録

測定点	条 件		ガ ス メ ー タ 記 録				測 定 値	
	吸引ガス 流量	大気圧	吸引 ガス量	ガスメータ 温度	ガスメータ 圧力	θ mの飽和 水蒸気圧	吸湿 水分質量	水 分 量
測定時刻	qm l/min	Pa kPa	Vm l	θ m °C	Pm kPa	Pv kPa	ma g	Xw %
4:38	3.0	101.3	9.0	9.0	0.01	1.1	0.06	0.9

## 排ガス組成測定記録

測定点	オ ル ザ ッ ト 測 定 値 ( V / V % )				空気比 m
中心 採取時刻	CO <sub>2</sub>	O <sub>2</sub>	CO	N <sub>2</sub>	
4:30	0.2	20.8	0.0	79.0	99.75

<水分量の計算>

$$X_w = \frac{\frac{22.41}{18.02} \times ma \times 100}{V_m \times \frac{273.15}{273.15 + \theta_m} \times \frac{Pa + P_m - P_v}{101.32} + \frac{22.41}{18.02} \times ma} \quad (\%)$$

<空気比の計算>

$$m = \frac{N_2}{N_2 - 3.76(O_2 - 0.5CO)}$$

<湿り排ガス量の計算>

$$Q_N = \frac{273.15}{273.15 + \theta_s} \times 60 \times 60 \times A \times \frac{Pa + P_s}{760} \times V \quad (m^3_N/h)$$

<乾き排ガスの計算>

$$Q'_N = Q_N \times \left(1 - \frac{X_w}{100}\right) \quad (m^3_N/h)$$